

五感で自然にふれて豊かな自然感覚を育む

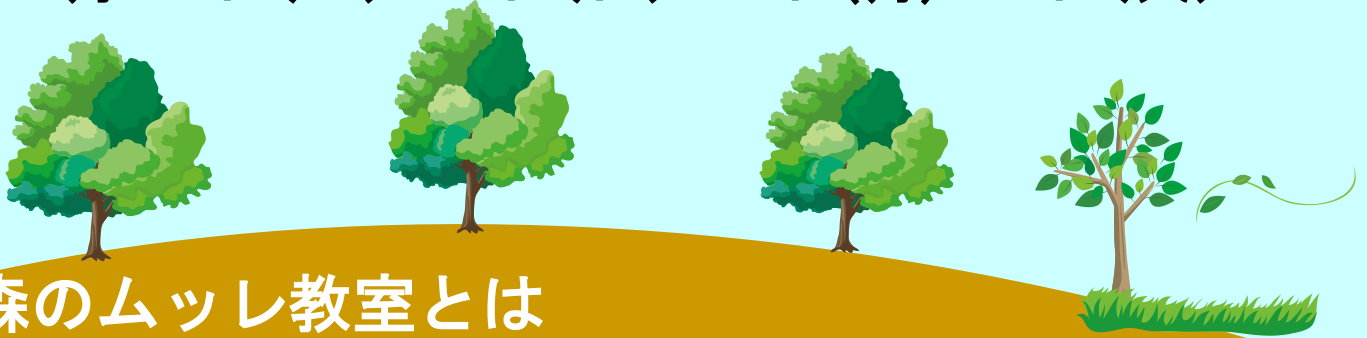
受講生募集!

幼児期からの環境教育

森のムツレ教室 & オープンプレスクール教室
クノッペン教室

リーダー養成講座 in 福津

1月14日(土)・15日(日)・16日(月)・17日(火)



森のムツレ教室とは

環境先進国として名高いスウェーデンで、50年前に生まれた自然教育プログラムです。17,000人の市民がリーダーとなり、国民の4人に1人が幼児の頃にムツレ教室を体験しています。日本でも1992年に兵庫県からスタートし、幼稚園や保育園にも取り入れられています。ムツレ教室では五感で自然とふれあい、森の妖精ムツレと仲良くなりながら、エコロジー(生物界の共生)を知り、自然への気づきを学びます。あなたもリーダーとなり、未来を担う子どもたちに、自然とふれあう楽しさや自然の大切さを伝えていきませんか?



【講師】 高見豊 (日本野外生活推進協会会長)
佐伯美保 (日本野外生活推進協会講師)

【日時】 ① 1月14日(土) 9:00~17:30 と 15日(日) 9:00~15:00

森のムツレ教室 (5・6歳対象) リーダー養成講座2日間

【場所】 福津市中央公民館2階会議室3室&わかたけ広場

【参加費】 26,000円(教材費・保険料・リーダー登録費4,000含む)

* 託児料金はお問合せ下さい。

【対象】 幼児教育・環境教育・子育て支援に関心のある方や保育士・教諭・学生

* ①の修了生は②③④が受講できます。希望者は併せてお申し込みください。

② 15日(日) 15:30~17:30 森のオープンプレスクール教室 (0・1歳対象) リーダー養成講座 (7,000円)

③ 16日(月) 9:30~15:30 森のクノッペン教室 (1, 2歳) リーダー養成講座 (13,000円)

④ 17日(火) 9:30~16:00 森のクニュータナ教室 (3, 4歳) リーダー養成講座 (13,000円)

【場所】 15日(日) 市中央公民館2階研修室3&わかたけ広場

16日(月) ふくとびあらくらくルーム 17日(火) 市中央公民館2階研修室3

【主催】 環境ネットワーク「虹」【協力】 ふくつ子どもステーション “すてっぷ”

【問合せ】 090・5080・3581 (佐伯美保) knet_niji@yahoo.co.jp

【申し込み書】 FAX 0940-43-1052(宮本明美) または knet_niji@yahoo.co.jp			
○をつけてください ①森のムツレ ②森のオープンプレスクール ③森のクノッペン ④森のクニュータナ			
氏名	女・男	所属	住所
託児	(名前 女・男 歳 か月)	(名前 女・男 歳 か月)	
Tel	FaX		Eメール

森のムッレ教室 5～6 才



ムッレ教室の目的は、まず、子どもたちに「自然に出かけるのは楽しい」ということを知らせ、自然感覚を育むことです。子どもたちは五感を使って様々な生き物とふれあい、体でエコロジー（生物界の共生学）を知ります。そして一緒に生きている他の生物や依存している環境への気づきを学ぶことができます。

「ムッレ教室」の最大の特徴は、これらの目的を達成するために、“森のムッレ”という架空の妖精が登場することです。“ムッレ”は、子どもたちと自然との橋渡しの存在で、植物や動物の言葉を伝え、自然の法則を人間が変えてはいけなことを教えてくれます。“ムッレ”の語源は、スウェーデン語の“Mullen” ムッレン（土壌）です。土は地球上のすべての生物の命の根源であり、人間もまた土とつながっているのだということを伝えたい、という願いが“ムッレ”の名前には込められています。

*自然感覚は、自然すべての物に気付くことができ注意を払う段階から、「私も動物であり、自然の中のエコロジーの一部なのだ」と理解できる段階まで幅がありますが、その理解ができて初めて自然に参加でき、自然が自分の家だと思えるのです。だれもが自分の家は大切にします。近所に住んでいるものへの責任も感じるので。森のムッレ教室では、子どもの発達に応じて自然感覚を育みます。

森のクニータナ教室 3～4 才

クニータナ教室は、3・4 才の幼児のための教室です。子どもたちは、遊んだり歌ったりして身近な自然で様々な発見し、自然の中で楽しく快適に過ごす事を学びます。そして、親や他の大人やリーダーと一緒に生き物のことを学び、木の切り株やまつぼっくりや、アリやミミズとすっかり友だちになります。体験を通して子どもたちは自然に対する豊かな概念と自然感覚を身につけ、のびのびと遊び、仲間意識を持つようになります。テントウムシの「ニック」が登場します。



森のクノッペン教室 1～2 才

クノッペン (Knoppen) とは「小さい芽」という意味です。1、2 才の子どもたちがリーダーと共に自然に出かけて冒険します。五感で自然とふれあい、虫や草花など様々な発見します。リーダーはクノッペンの子供たちが見たり、感じたりしたことに共感し、言葉で表現してあげます。子どもたちは体験を通して自然と仲良くなり自然の中で楽しく快適に過ごすことを学びます。



森のストローバレ教室 小学校低学年

ストローバレ教室は、ムッレ教室の次段階として、小学校の低学年を対象にした教室です。ムッレ教室で自然感覚を身につけた子どもたちは、さらに自然と深く関わっていき、人間が自然の一部であることを理解し、小さな生き物や草花に気を配ることを学んでいきます。



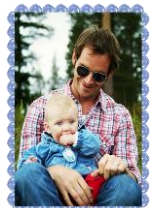
森のフリールフサレ教室 小学校高学年

フリールフサレ教室は、小学校の高学年を対象にした教室です。ストローバレ教室で人と自然のかかわりを学んだ子どもたちは、次の段階として、人が自然に与える影響を知り、自然を守るために何が必要かを考えていきます。そして、自然保護に対して自分の考えを持ち、何ができるかを話し合います。



森のオープンプレスクール 0, 1 歳（赤ちゃんの野外活動）

子育て支援活動の野外版で、親が子どもと一しょに自然体験をして他の子どもや親と居心地良く時間を過ごせることが目的です。育児中の親に新しい友達やネットワークができます。親の役割は、自然の中で子どもと一緒に発見し、子どもがゆっくり周囲を探求し、子どもが自ら発見できるよう手助けすることです。そのように親どうし育ちあうサポートを得られます。



参照：日本野外生活推進協会 HP
<http://mulle.sakura.ne.jp/>
『幼児のための環境教育』
～ スウェーデンからの贈り物
「森のムッレ教室」～
岡部翠編 新評論 2007 年



参照：『スウェーデンの森のムッレ 対象年齢別事例集～子どもたちを自然の中へ～』
環境ネットワーク「虹」
佐伯美保編集・高見幸子著・翻訳
2014 年